

氏名	吉岡貴史
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第5286号
学位授与の日付	平成28年 3月25日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目	Effectiveness and Safety of Ureteroscopic Holmium Laser Lithotripsy for Upper Urinary Tract Calculi in Elderly Patients (高齢者における経尿道的腎尿管結石碎石術の有用性と安全性の検討)
--------	---

論文審査委員	教授 光延 文裕 教授 和田 淳 准教授 増山 寿
--------	---------------------------

学位論文内容の要旨

上部尿路結石は common disease であるが、高齢者に対して推奨される手術療法は未だ確立していない。上部尿路結石に対する経尿道的腎尿管結石碎石術は低侵襲かつ高い結石除去率を誇る治療法である。今回我々は後ろ向きに、189例の URS lithotripsy の成績を、患者を年齢で若年群 (64歳未満, n=108)、前期高齢者群 (65-74歳, n=42)、後期高齢者群 (75歳以上, n=39) の3群に分類して検討した。前期高齢者群は若年群と比較して ASA スコア、高血圧、高脂血症の既往が有意に多く、後期高齢者群は若年群と比較して ASA スコア、高血圧の既往、術前腎盂腎炎の罹患が有意に多かった。しかし、術後の腎盂腎炎罹患率と結石除去率は3群間に有意差を認めなかった。術前リスクファクターの多い65歳以上の高齢者においても、経尿道的腎尿管結石碎石術は安全かつ有効であることが示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、高齢者の上部尿路結石に対する経尿道的腎尿管結石碎石術の有用性と安全性を検討したものである。189症例の経尿道的腎尿管結石碎石術の成績を、年齢で若年群 (64歳未満, n=108)、前期高齢者群 (65-74歳, n=42)、後期高齢者群 (75歳以上, n=39) の3群に分類し、後ろ向きに検討した。前期高齢者群は若年群と比較して American Society of Anesthesiologists (ASA) スコア、高血圧、高脂血症の既往が有意に多く、後期高齢者群は若年群と比較して ASA スコア、高血圧の既往、術前腎盂腎炎の罹患が有意に多かった。しかし、術後の腎盂腎炎罹患率と結石除去率は3群間に有意差を認めなかった。75歳以上の後期高齢者を含む高齢者における経尿道的腎尿管結石碎石術の安全性と有用性を初めて示した研究であり、臨床的に価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。